



浅野ドックで改修中の「宗谷」[1956年3月] 神奈川新聞社提供



南極に向け出航する「宗谷」[1956年11月8日]



コウテイペンギン [2017年2月]

Photo Exhibition  
60 Years of Japanese Antarctic  
Research Expedition  
—A news agency as eyewitness—

# 南極観測 60年

— 定点観測者としての通信社 —

2018年

10月6日[土]—12月24日[月・振替休日]

開館時間: 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)

ニュースパーク(日本新聞博物館)  
2階 企画展示室

主催: 公益財団法人 新聞通信調査会、ニュースパーク(日本新聞博物館)

協力: 国立極地研究所、神奈川新聞社、共同通信社





神奈川新聞紙面 1956年3月31日付「現地でみた氷の山(下)」



生きていたタロとジロ [1959年1月]



南極点到達 [1968年12月19日]



「ふじ」からの物資輸送 [1967年1月]



氷点下43.8度、湯も一瞬で凍る [1996年1月]



観測船「しらせ」上空に現れたオーロラ [2017年2月]



南極の湖底に生息する「コケボウス」 [2010年1月]



昭和基地の大型大気レーダー「PANSY(パンジー)」 [2016年12月]

60 Years of Japanese Antarctic Research Expedition — A news agency as eyewitness —

# 南極観測60年

— 定点観測者としての通信社 —

厚い氷に覆われ、長らく人類の侵入を拒み続けてきた南極大陸。東京国際フォーラムで好評を博した写真展シリーズ「定点観測者としての通信社」の「南極観測60年」から精選した写真展です。

日本が戦後、国際社会に復帰して南極観測に乗り出してから60年以上が過ぎました。その初代南極観測船「宗谷」は、現在は東京・お台場にある「海の科学館」に係留され、展示資料として余生を送っています。その「宗谷」が1956年に本格的な砕氷船への改修工事を施されたのが、ここ横浜の日本鋼管(現JFEホールディングス)浅野ドックでした。「宗谷」が生まれたのは1938年の長崎。2018年で80年となります。

映画『南極物語』に描かれたように第2次観測隊は悪天候と厚い氷に阻まれて越冬を断念。第1次越冬隊が連れて行った犬ぞり用の樺太犬のうち15匹が「宗谷」に収容されず、昭和基地に置き去りにされました。約1年後、このうちの2匹が奇跡的に生き延びて、第3次観測隊を出迎えました。2匹はタロとジロ。世界的なニュースになりました。

会場では、厳しくも心洗われる極地ならではの風景、そこに生きる動植物の世界、観測船や基地、現在の南極での観測の様子などを紹介します。

## ■入館料

一般	400円	※20人以上の団体は100円引きとなります。事前に電話でご予約ください。
大学生	300円	※障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料です。
高校生	200円	※校外学習の引率の先生方は、学生・生徒・児童と
中学生以下	無料	同じ料金で入館いただけます。

## ■交通アクセス

- みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情文センター口)直結
- JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
- 横浜市営バス「日本大通り駅前」徒歩1分
- 観光スポット周遊バス・あかいくつ「日本大通り」下車 正面
- 首都高速「横浜公園出口」から 約3分

※横浜情報文化センター駐車場・日本大通り地下駐車場をご利用ください。



〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター  
電話:045-661-2040 FAX:045-661-2029

詳しい情報はWEBで!

ニュースパーク

検索

<https://newspark.jp/newspark/>



同時開催

密着! ~東京新聞のレンズから~

写真部 @ 新聞社

2018年10月6日(土) — 12月24日(月・振替休日)